

平成 24 年 12 月号

〔平成 24 年 11 月 25 日発行〕

法筵寺だより

— 発行 —

(宗) 日蓮宗 法筵寺

名古屋市南区観音町 8-81

日	月	火	水	木	金	土
						1
<p>家内安泰・円満、身体健全、不安解消、 運氣向上は盛運祈願会へ参詣ください。</p>		<p>ご先祖様や亡き方にご供養、感謝 するゆえに家族安泰、開運します。</p>				13:00~ 清掃奉仕日 (奉仕希望者)
2	3 (ヨガ)	4		6	7	8
10:00~12:00 盛運祈願会 どなたでも参加可		13:00~14:30 月例供養会 どなたでも参加可			13:00~ 清掃奉仕日 (奉仕希望者)	面会団参 千葉・東京
9	10 (ヨガ)	11	12	13	14	15
面会団参 千葉・東京		<p>疲れている、楽になりたい 、リフレッシュしたい人</p>		10:00~90分 (リラク会) 《要予約》		18:00~20:30 学習会 「神との対話」 《要予約》
16	17 (ヨガ)	18	19	20	21	22
9:00~昼食後 年末大掃除 どなたでも参加可 但し、事前連絡必要		<p>開運、除災、心願成就是、八大 龍王神様に感謝の祈りです。</p>			13:00~14:30 守護神報恩会 (八大龍王神様) どなたでも参加可	18:00~20:30 学習会 「法華経」 《要予約》
23	24	25	26	27	28	29
					13:00~ 清掃奉仕日 (奉仕希望者)	7:30~9:30 法筵寺墓苑 年末回向

謹啓 10月29日弟子・海頌が、名古屋駅にて、多数の檀信徒の皆様の見送りを頂き出発しました。11月1日には、お陰様にて無事、日蓮宗大荒行堂に入行することが出来ました。ご多忙の中、お見送りありがとうございました。まずは入行に至るまでが最初の関門ですが、入行中は、行堂面会をはじめ、成満に向けての準備となります。今後とも何かとご尽力を賜りますが、何卒、よろしく願い申し上げます。

先日、地元新聞の市内版に、ある寺院の本堂でヨガを行っている写真が大きく掲載されました。その写真を見た瞬間、違和感を覚えました。月例行事に皆さんにも見て頂いたのですが、第一声が「ご宝前に足を向けている」でした。そうです。横になった大勢の足が、ご本尊様に向いていたのです。せつかく本堂を利用しているのですから、せめて神仏(尊き存在)に対して敬虔なる思いを伝えて欲しいものです。今、お寺を積極的に解放しましょうという動きがあり良いことだと思いますが、ならば大切な心も教えていくべきです。

いよいよ今年もあと1ヶ月となりました。悔いなきよう精進しましょう。 合掌 法筵寺住職 鈴木海祥

各行事の予約、お申込み、ご質問は、ご遠慮なく法筵寺へお尋ねください。

ご法事・ご回向・ご祈祷・ご相談・ご葬儀 又、外氣功療法等は随時受付けています。

お尋ね、お問い合わせ 日蓮宗 法筵寺(ほうえんじ) TEL052-691-0270 / FAX052-692-5576

〒457-0845 名古屋市南区観音町八丁目 81 メール info.ho@do-o.jp ホームページ http://www.do-o.jp

《第一日曜日は、開運秘訣の“盛運祈願会・せいうんきがんえ”です。是非、お参りください》

～ご案内～

- ☆12月8～9日：大荒行堂面会団参について、若干の余裕がありますので、参加希望の方は、至急、お申し込みください。
- ☆12月21日：今月の守護神報恩会は、八大龍王神様を中心に営みます。
- ☆12月13日：本堂でリラックスする会（リラク会）を開催します。どなたでも参加できます。「寺ガール」の一環として、毎月1回開催します。参加費は500円（ワンコイン）
- ☆12月16日：年末大掃除を行います。ご奉仕頂ける方は、第1日曜日に受付してください。
- ☆12月29日：法筵寺墓苑年末回向を行います。

法筵寺弟子・鈴木海頌（すずきかいじゆ）、日蓮宗大荒行堂入行に際し、ご案内をさせて頂きます。

《入行会》

十月二十九日、名古屋駅新幹線ホームにて、多数の檀信徒の皆様に見送られ中山法華経寺（日蓮宗大荒行堂）に向け出発しました。ご多忙の中、お見送りありがとうございました。

十一月一日、午前中、法華経寺祖師堂にて入行会が行われ、午後、唱題行列にて多数の皆様に見送られ、百三十五名の行僧が瑞門をくぐり、いよいよ荒行が始まりました。

《日蓮宗の荒行について・7》

瑞門をくぐると、すぐに行が始まります。初行僧は何も分からないまま、ただ、一日七回の水行と読経堂に籠り読経、ひたすらこの連続です。（修行は、午前二時半に起床、午前三時、六時、九時、正午、午後三時、六時、十一時の七回の水行。「水行肝文」を唱えて手桶で澡浴します。それ以外は、読経堂に入り読経です。横になれるのは深夜十二時頃です。）

三日も過ぎると、寝不足と空腹で朦朧状態になります。しかし、読経は、どんな時でも止まりません。午前三時から午後十一時までの間、読経と木鉦の音は、晝夜の間止まることはありません。体が温まる頃には水行となり、時には昼夜の区別がつかない時もあります。

もちろん先輩僧も、この期間は同じように修行するのですが、全体を見渡す伝師と呼ばれる指導者（責任者）の方が数名おられますので、行僧は、ひたすら行に没頭します。やがて二週、三週と過ぎ荒行の生活に慣れてくると初行僧も行堂の運営を手伝いはじめます。特に時間に対しては厳しいので、しばらくは朦朧とした時間の観念がない修行をしていたところに、運営の担当となると、その中でも常に緊張感が求められます。

この「たより」をお読み頂いている時は始まって一ヶ月前後ですが、まず、このような状況で自行と呼ばれる三十五日間を行い、それが過ぎると、化他行となり面会やご祈祷を受けて頂けるようになります。（続）



「案内とお願い」(9)

～俱生霊神符について～（ぐしょうれいじんぷ）

法筵寺では、「俱生霊神符」というお守りを、皆さんに着帯（お持ち）して頂いています。神仏や俱生霊神様は常に私たちを守っておられますが、『困った時こそ、神仏から離れるな！』という言葉があります。困難な時や苦しい時こそ俱生霊神様（符）に祈ることで、より守りの強さを頂けます。“まずは、祈ってください。”



このお守りは、毎月新しいお守りと交換します。それは感謝と祈りを忘れないためと、さらなる御守護を頂くためです。ぜひ、**毎月第1日曜日に開催される“盛運祈願会”にご参詣**頂き、ご自身が祈り、新たなお守りと交換して下さい。このお守りは、定期郵送も致しますので、法筵寺へお尋ね下さい。

日蓮聖人は、この俱生霊神という神様は、**自分自身を直接守る神である**と随所に書かれています。家族の安泰を個々にお守り頂けますので、ぜひ、ご家族皆さんで、このお守りをお持ち下さい。

俱生霊神符は、1体500円にて授与させて頂いています。（郵送には、別に送料がかかります）

尚、古い俱生霊神符は、法筵寺へ返納下さい。

お問い合わせは、法筵寺へ052-691-0270

不安や恐怖、苦しみや悩みの軽減、解決。病気の平癒、改善。交通安全や事故防止。人間関係の改善。運の向上。学習や仕事の向上。その他、さまざまな出来事に対し、あなたをサポートします。